

- 1 研究題目
消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築
- 2 研究の対象
消化器内臓検査・治療を受けた全ての方（年齢・性別・入院外来の別は問わない）
- 3 研究目的
本研究（事業）は、日本全国の内視鏡関連手技・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者に最善の医療を提供することを目指す研究である。本研究（事業）で集められたデータを分析することで次のことを明らかにする。
 - ・内視鏡関連手技を行っている施設診療科の特徴、
 - ・医療水準の評価、
 - ・適正な消化器内視鏡専門医の配置、並びに消化器内視鏡技師、看護師などのコメディカルの適正な配置などを明らかにすることで内視鏡関連手技にともなうリスクを理解し、患者、患者家族とともに手術・治療の方針を決定することができるようになる。個人情報については、研究対象者のIDをHASH化し研究に使用する。HASH化したデータは提供元施設には提供せず、当該施設の事業協力責任者立会いの上患者IDが削除されたことを確認する。
- 4 研究期間
2015年1月1日～2024年12月31日
- 5 研究に用いる試料・情報の種類
診断名、術式、年齢、性別、既往歴、薬剤の使用状況、検査目的、治療目的等。
- 6 研究責任者
内科：水戸川 剛秀